

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年11月19日 No.94

11月が山場、ちひろカレンダー普及に全力を

「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」と願い続けたちひろさんの優しさともくもり、そして秘めた芯の強さも感じられるカレンダーを手から手へ、平和への願いを伝えていこうと全国で普及が進んでいます。

新婦人の普及のひろがりでも島根県原水協が昨年より100本以上上回りました。昨年数を上回った県は6県(宮城、山梨、岡山、島根、佐賀、宮崎)となりました。

栃木では、8月に「わたしが選んだちひろ展」を開催した宇都宮美術館から20本の注文がありました。

7000本普及をめざす神奈川県では、本日5000本を突破。新規の開拓のために、これまで普及のなかった県団体へカレンダーの見本を持って訪問をはじめています。東京では八王子原水協会長の谷さんが300本普及をめざしています。富山では、小林事務局長が労働組合や民主団体など、加盟団体の枠を超えて行商するなど奮闘しています。



女性有権者比10%めざす - 新婦人群馬県本部

新日本婦人の会群馬県本部は、新婦人中央本部の全女性有権者を視野に新署名「核兵器のない世界を」を広げようとの方針に応え、当面女性有権者比10%をめざして各支部・班で取り組みを進めています。

前橋支部平和部は10月22日、駒形駅北口で署名に取り組みました。高校生、大学生が多く乗り降りする3時から1時間の行動で、断る人はほとんどなく、81筆の署名が寄せられました。また、女性から3000円の募金もいただきました。藤岡支部は10月20日、スーパー前で署名宣伝行動。若いお母さんたちが署名に応じてくれ、43筆が集まりました。

被爆者の会、県生協と学習会ひらく - 三重

三重県原水協は11月18日、同県原爆被災者の会、同生協と合同で「核兵器廃絶を考える学習会」を津市で開催。27人が参加しました。県の三団体は、平和行進の時期にとどまらず、年間を通して平和の問題、核兵器廃絶の問題について学習を積み上げていこうと計画してきました。

県原水協の佐藤岑夫さんが講師となり、1年半先に迫ったNPT再検討会議の成功をめざそうと署名活動の重要性を訴えました。

米艦が寄港中止を苦小牧港に通告 - 北海道
フリゲート艦「ルーベン・ジェームズ」が21日に苦小牧港に寄港すると通告してきた問題(N094で既報)で、在日米海軍は17日夜、海上保安庁を通じて苦小牧港の中村貴人港長(苦小牧海上保安署長)に同港寄港を中止すると通告しました。